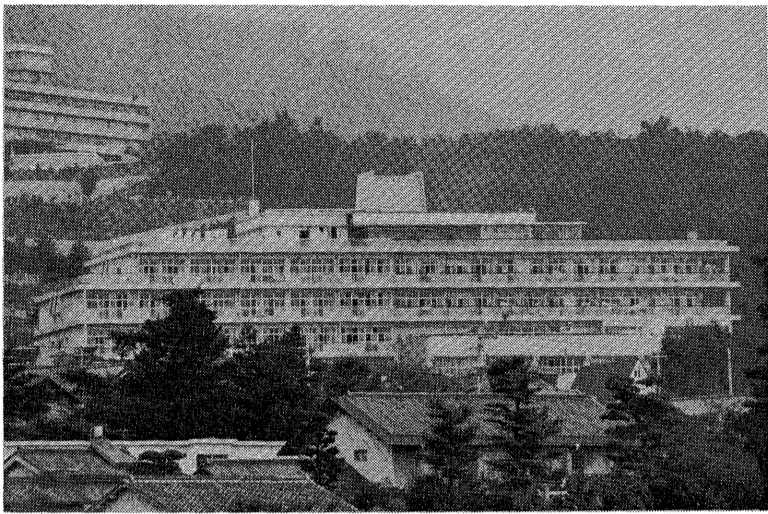


人口総数	66,705	世帯数	18,708
男	31,900	面積	16.07km ²
女	34,805		

芦屋市民憲章

- わたしたち芦屋市民は
- 文化の高い教養豊かなまちをきずきましよう
 - 自然の風物を愛し、まちを緑と花でつつみましよう
 - 青少年の夢と希望をすこやかに育てましよう
 - 健康で明るく幸福なまちをつくりましよう
 - 災害や公害のない清潔で安全なまちにましよう



これまでの2倍の姿でお目見得した芦屋病院本館(左半分が増築部分)

いま内装仕上げ中 二期工事

ベッド数は二四四床に

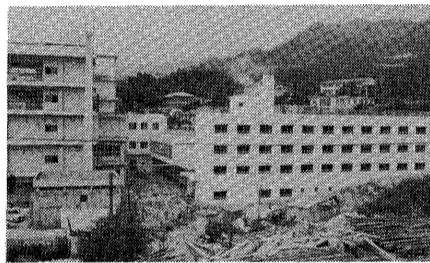
眼科、口くう外来月から診療の予定

内装工事を急いでいる芦屋病院(朝日ヶ丘町)の第二期整備は、今月末までにすべてを終えて九月二十七日、落成式を挙行します。十月に予定を定めていた全館使用の結果、ベッド数はこれまでより百九床ふえ、また診療科目も新しく四科がスタートする予定です。

昨年八月に着手した第二期工事のため、病院をご利用のみなさんにはたいへんご不便、ご迷惑をおかけしました。しかし、おかげをもちまして本館増築、レントゲン棟、看護婦宿舎の建設を内容とする第一期工事は、あと内部の仕上げを残すだけとなりました。この中で網目のように残っている部分はすでに利用いただいていた本館で、その左側(西側)に続けたところが本館の増築分、うしろ(北側)がレントゲン棟、さらにその右側(東側)が看護婦宿舎という配置です。こうした第二期整備のねらいは、まず病床不足を解消する

レントゲン棟 診断向上に 新鋭機も設備

レントゲン棟は、鉄筋コンクリート三階建て、のべ面積千五百七十七平方メートル、一階には直接市民の方には関係ありませんが、解ばう蓋安全のほかにボイラー、空調、電気など機械関係の設備室が設けられます。そして、二階にはレントゲン室、付随診察室、回復訓練室、売店などを設けます。なかでもレントゲン室は胸部・外科・消化器・泌尿器というように用途別に五室設けて、レントゲン診断機能の増強をはかります。三階は患者用の浴室と医師当直室、病歴室などです。



レントゲン棟(中央奥)と看護婦宿舎(手前)

使用料、手数料 から改正

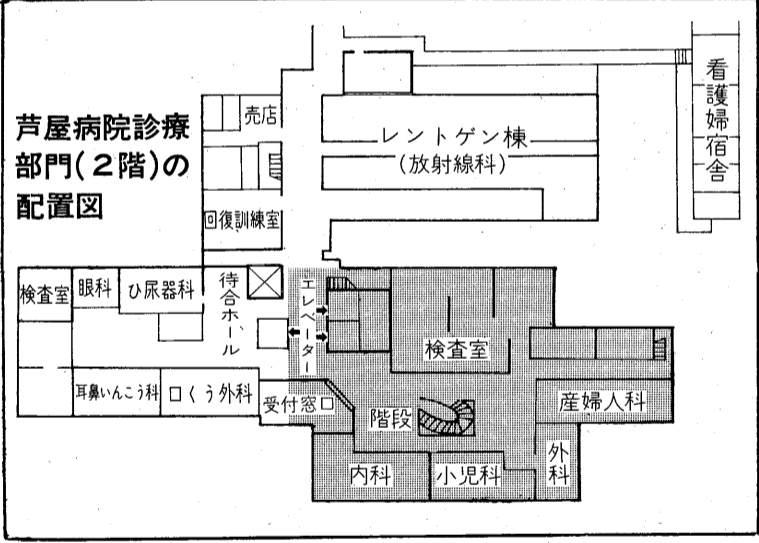
七月に開かれた第五回臨時市議会で「芦屋市病院事業の設置等に関する条例」の一部改正と「芦屋市立芦屋病院使用料及び手数料条例」の一部改正が可決されたことは、すでに前号の市議会報告の中でお伝えしましたが、設置等に関する条例が増補、増床を定めたもので、これは先に説明したとおりです。もう一つの方は、経済情勢の変動にもない十月一日から入院料、手数料を改めるもので、内容は次のとおりです。

入院料は、市内にお住まいの方で病室をお使いになるときは、健康保険の自己負担額に引き加えられた特別室七千円、個室A千六百円、同B五百円、二入室A六百五十円、同B三百五十円、同C二百円、総室A、同Bは不要(いすれも一日につき)

また、手数料は分娩料を七千円(診療時間外は二千円を加算)文書料を種類によっておがいますが五十円以上千円以内を改めました。

人口は65,509人 住民実態調査終わる

調査の結果、六月二十七日現在の人口は六万五千五百九十九人、世帯数は二万八千六百二十二世帯となり、同時に推計された人口は千四百三十三人、世帯数は二千二百二十一世帯の差がありました。世帯数に大きな差が出たのは、独自に住む人や同居の人をそれぞれ一世帯としたためです。また、同時に開催される住居基本台帳の記載より六百七十六人多いことがわかりました。これは、現に市内に住んでいるが転入届を出さず、すてに市外へ移って出た転出届をなすっていない方が二百八十一人もあったからです。これらの方には



市は職権で記載または消滅し、住民基本台帳をより正確なものとしていきます。

このように、住民実態調査は、住民基本台帳と居住実態との誤差をなくし、市のしごとをする上でのもれや誤りをなくするためのたいせつな調査です。したがって、毎年調査を行います。

住民基本台帳は、選挙人名簿の登録、国民健康保険や国民年金の加入の資格、学齢簿の編製、その他予防接種や市民年金など、市民のみならずに関する事務処理の基礎となる重要な資料です。転入、転出の届けなど住民基本台帳への届け出しは、十月十四日以内に市民課の窓口で手続きをしていただかねばなりません。市民としてのいるる権利を受けられなかったというご不便なよう、ぜひ届け出を励行していただい。届け出は、それぞれのものが必要で、転入届は、米の通帳、転出届は、米の通帳、国民年金の加入者は年金手帳、国民年金の加入者は年金手帳、転入届は、米の通帳、国民年金の加入者は年金手帳、転出届は、米の通帳、国民年金の加入者は年金手帳。

敬老会は10月13日に

九月十五日は敬老の日です。市ではこの日を記念して、敬老会の間、川西・三条・大原・打出の各老人会がこの日に行われます。敬老会行事は、九月二十五日(木)午前十時から午後二時まで、川西・打出両老人会この日に行われます。

敬老会は、敬老の日(九月十五日)に、敬老会の間、川西・三条・大原・打出の各老人会がこの日に行われます。敬老会行事は、九月二十五日(木)午前十時から午後二時まで、川西・打出両老人会この日に行われます。

敬老理事兼 九月二十二日

開店 たねの銀行

秋まきの草花のたね、球根を貸し出します。

9月16日から

市民会館、市役所公聴広報室、打出、竹園、翠ヶ丘各集会所へ

永久選挙人名簿をもう一度確認してください

縦覧期間 9月11日(木)～15日(月)

土曜、日曜、祝日も開いています。時間は午前8時30分～午後5時。場所は市役所4階選挙管理委員会

市民会館新ホールの愛称

「ルナホール」と決定

建設中の市民会館新ホールの愛称を八月に募集したところ、市民のかたから二百六十通も応募がありました。さっそく、渡辺市長、真鍋市民会館運営審議会議長、詩人竹中郁氏、画家吉原治良氏、劇作家茂木草介氏らで慎重に審査しましたが、結局、応募作には入選第一席にふさわしいものがありませんでした。そこで審査員一同で長時間協議の結果「ルナホール」と命名することにしました。

これにきめたのは、①新ホールが将来国際的にも知られることを願い、準入選一席の「ムーン」(月)を英語圏以外でも共通のラテン語の「ルナ」(Luna)に置きかえ、同時に、覚えやすく感じのよい響きにしたこと、月時代にふさわしいメカニクを備えたホールであること②ホールの中が宇宙空間に浮かぶ月を連想させよう、と黒とシルバーに包まれ、芸術的なふんわりと多くの可能性を持つ、

オープンは今 四月

愛称がきまった「ルナホール」の工事は、長雨や炎暑を衝いて進んで進んでいます。万国博やその関連工事にもなう技術者、健康で快適なまちづくりを実現させるために次のような行事を計画してみなさまのお越しをお待ちしております。

家庭の排水設備でも相談所 への接続工事のこと、下水道管の敷設、一定の基準にしたがって利用できるようにしております。

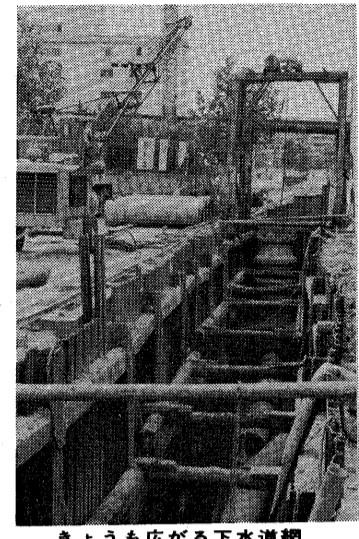
九月十日(水) 市民会館
九月十一日(木) 日吉神社
九月十二日(金) 大原交番所
(時間はいずれも午後二時～六時)

9月10日は下水道促進デー

ポンプ場開放や相談所を開設

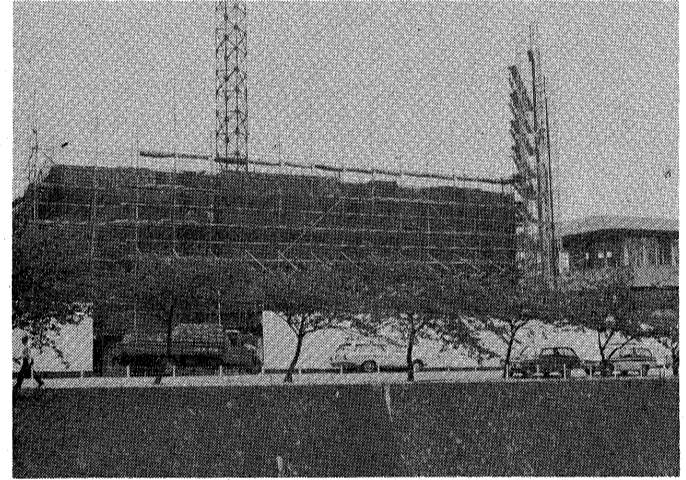
都市の生活環境改善に重要な役割を果たす下水道の普及は、残念ながら、残念ながら他の公共施設に比べ著しく立ち遅れています。そこで国ではこの遅れをとらぬよう、毎年九月十日を「下水道促進デー」と定め、下水道建設の促進と世論を盛り上げる運動を展開しています。

本市では、昭和三十一年度から四十九年度までの計画で緊急以南を計画排水区域として下水道工事を進めています。ことしも前号でお知らせしましたように、津知町、川西町と上宮川、宮塚、楠の各町の一部で延長約六千四百の幹線枝線を埋設、また、国鉄北側の駅前通り(芦屋川東、西宮市境間)の延長約千七百を他の工事で道路を掘り返すのを機会に管を埋設します。こうして、今年度の工事が終わると下水道管は延長約五万八千、計画排水面積のおよそ六十%に達します。



きょうも広がる下水道網

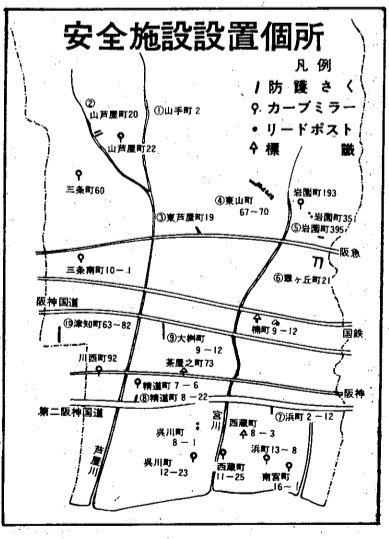
のなかった「入選」の賞金は分配して準入選 佳作に充てました。◇準入選一席(七千円)「ムーンホール」伊勢町池ヶ谷綾子◇二席(四千円)「なりひらホール」川西町細江せい子◇佳作(二千円)「クリスタルホール」碧ヶ丘町鶴尾美恵子、「芦屋市民ホール」東芦屋町姉川明子、「コスモホール」大井町河野明人、「リードホール」精進町藤村義彦、「ホール、70」精進町奥山泰康。敬称略。



来年3月完成をめざし大ホールの建設は急ピッチ

安全施設の工事中 ガードレールなど二十五カ所市では今月初めから、防護さくやカーブミラーなど交通安全施設の設置工事を進めています。

これは前号でお知らせした「交通安全施設整備三カ年計画」のうち、初年度にあたる本年度分の工事で下図のように、防護さく十カ所(レール五カ所五十八カ、パイプ四カ所四百、ケーブル一カ所十九カ)をはじめ、カーブミラー十本、リードポスト(自動車のへ二カ所、それに道路標識三本を設け、トライトを反射させるもの)を配置します。



労働者の不足などがひびき、予定より若干遅れ、工事の完成は、最後に進行する音響調整をいれると来三月になります。

いま、工事は外壁や床のコンクリート打ちが二階客席部分まで終わりに近づいています。そのあと、取りです。

渡り廊下の工事などを進める段、複雑な内部装置の工事、現会館と、したがって、ホールの開場は、

公私多忙

まな板の上で、さきみものをする、首に似ている。先月、福祉センターを会場に六回にわたって開かれた点字講習会で、参加者が点字を打つ音で、ある指導にあられたのは大野先生。「夏休みにしたから、学生さんが大勢習ってくださいます。ただ点字の技術を覚えるだけでなく、わたしとしては、若い人たちに点字を通じて盲人への理解を深めていってほしいと思

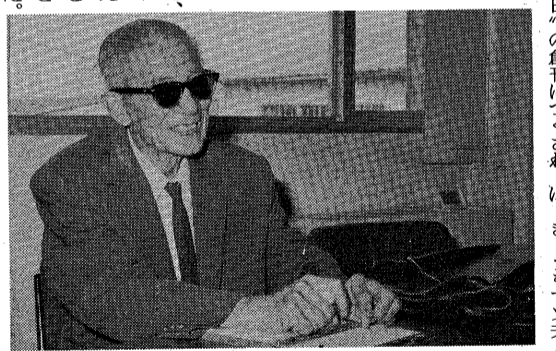
盲人のために働く

大野加久二さん

先生のご指導による点字講習会は、すでに四十一回から図書館で開かれていた。そこから生まれた点字講習会の会のみならず、四十二年の四月に発行した「広報あしや」から以後、これを毎月三回ずつ点字され、目の不自由な方々に回覧して下さっている。

「二十人ほどのメンバーがグループにわかれ、それぞれ分担して記事を書き進めています。点字あしやはたいへん喜ばれています。いままで広報紙を説きなかつた人たちが、これによって市政のこと、まちのようすなどを再認識されているようです」

点字広報は号を重ね、この号が点字



出血と診断されましてね。やがて、回復の見込みがないと宣告されたときに、これを毎号三回ずつ点字され、目の不自由な方々に回覧して下さっている。先生の功績は大きく、多数の賞をいただきました。

「先生は自問自答をくり返されたい。思いきって盲人学校に師範部へと進まれたのだが、これが一昨年、初の「市民文化賞」を受けて感謝しています」

おののかくじ氏「芦屋市身体障害者福祉協会会長、兵庫県盲人協会会長、兵庫県身体障害者福祉団体連合会副会長、七十一才。

「女房には、かなり苦労があったことだし、妻は、妻にたいして妻のもつ力以上のものを要求するのですが、耐えて、本当によくしてくれて

おののかくじ氏「芦屋市身体障害者福祉協会会長、兵庫県盲人協会会長、兵庫県身体障害者福祉団体連合会副会長、七十一才。

七月二十一日から八月二十日までの取り扱い分。敬称略。

【物品口座】市内の施設へ電気冷蔵庫一台、伴治子マ市内の方へ食器類二十点、石田みつゑ

【金銭口座】社会福祉のために千三円、青少年センター内福富正吉同十円、石崎弥内同千三百七十四円、昭和四十三年三月山手小学校六年一組卒業生クラス会代表天野洋子同和風園へ三万円、浜田安松同五百円、林垣良恵「技術口座」施設に寝具の乾燥機脱脂菌を、坂本清「福祉関係団体に伝統の淡路人形浄瑠璃を、尾崎和葉「払い出し」【物品口座】和風園へあなご六キログラム三田谷治療教育院へ食卓五点セット、机いす各一点同治療教育院へ六甲山バスツアー開催のために一万五千円、白菊会へ母子家庭バスツアー開催のためにバス代として四万三千八百円、福祉事務所へ身障者のためにいす代として四千円、身体障害者父母の会へ「泊キャンプ開催のためにバス代として三万五千円」

【寄贈】社会福祉のために市社会福祉協議会へ、敬称略。▽五百円、茶屋の町一主婦

犬を飼われている方へ

次のことは必ずおまもりください。

- 犬はつないで飼うこと。健康所へ。
- 犬がなつかないときは、こまめに散歩をさせ、おとなしくさせること。
- 犬が公園や荒れ地を歩くときは、必ずリードを付け、周囲の人や犬に迷惑をあたらないように注意すること。

今からでも遅くありません
1人360円でいつでも加入OK

お申込みは市庁舎へ
お分館安全対策室へ

市民交通災害共済はあなたに役立ちます

先月の市内 交通事故	
8月1日～31日	
事故	134件
死者	0人
負傷者	72人
1月から10月の累計	
事故	1,027件
死者	7人
負傷者	659人

